

～あとのびする力とは～

幼児教育の一番の肝となる事は!!

環境を通じて行なう教育だということです。教科書を持たないのが幼児教育の大きな特徴です。

小学校以降の教科書を使つての教育ではないということが大きな違いです。

教科書を持たないから教育ではない・遊んでいるだけと世間では捉えられがちですが、

そうではないということを、菊の花にわが子を通わせる保護者の皆様は

きくと認識してくださっていると思っています。ただ、大人から見ればじゃれ遊んでいるだけに見える

「遊んでいる」ことが、子ども達にとってどんなに重要なことか、また、そのことが将来のその人の

人間形成にどのような役割を果たしているか説明することは中々難しいと思います。

講義ではないので上記の事を文字で説明するのは控えますが、皆様方だったら、下記のことからなるほどね!とイメージとして理解していただければと思います。

※環境を通じて行なう教育→環境とは子どもの育ちや季節に応じて、どんなものがあつたら、より育ちの一助となるかを保育者が常に考え、用意した状況の事です。

◆物事とのかかわり

興味を持つ関心を持つ / 感じる・味わう /

観察する・よく見る /

試す・やってみる - 挑戦する /

疑問を持つ・不思議に思う /

試行錯誤する・何度も取り組む /

発見する・わかる

子どもの姿

◆人とかかわり

様子を見る・観察する /

模倣する・真似する /

自分の感情を表す・相手に伝える /

気づきや考えを伝える・提案する・主張する /

仲間の言葉に耳を傾ける・話を聞きく /

仲間の考えを理解する・受け入れる /

仲間の思い・考えを汲み取る・察する /

一緒にする・手伝う / 引き受ける / 待つ・我慢する

◆自然事象・数量・感触

冷たさ・温かさ / 形 /

固さ・柔らかさ / 大きさ /

重さ / 色 / 数 / 高さ・低さ /

浅さ・深さ / 長さ・短さ /

順序 / 量 / 広さ・狭さ



職員園内研修の様子



これらを経験することは今後、未来を生き抜いていく子どもたちにとって・いかなるときも必要な、**ねっこになる部分です**。私たち幼児教育に携わる者は常に子ども達の未来を描きながらその子にとって・クラスにとって・学年にとって・菊の花の子どもにとって必要な環境を**準備・実践・検証・改善・発展**といった実践を繰り返し行います。なにげない子ども達の遊びがその子ども達を育てて行くと思っているからです。

それぞれの学年が次の年度に進みます。1年かけてつちかったものを次の学年で発揮してほしいと持っています。次年度も子どもが子どもらしく今を過ごすことに力を注いでいきたいと思っています。最後に…子ども達の活動のためご家庭での準備や協力をいただきありがとうございました。